

第 55 回 紫友まち歩き

横浜ベイシティのまち歩き と 横浜中華街での新年会

年末からの企画です。前日から大雪の予報があり、案内役は当日もヒヤヒヤでの開催となりました。曇り空の中、少し寒かったが、元気に歩き始めました。横浜ホテルニューグランドに『開港 157 周年の横浜』との垂れ幕がありました。昔を探して赤レンガ倉庫や横浜の港関連建物を巡るまち歩きとなりました。

日時： 2016 年 1 月 23 日 (土)

集合時間：13 時

集合場所：J R 桜木町駅改札口集合

横浜ランドマークタワー側

参加者：17 名参加

案内人：018 荻原

懇親会：中華街北京焼鴨店

懇親会参加者：19 名

今回の歩数：12,000 歩（懇親会会場まで）でした。

今回はまち歩き案内人が事前下見での報告書を作成してくれた。その報告をもとにまとめています。

この色で コピペ をしています。

■まち歩き行程

桜木町駅→ランドマークタワー→ドックヤードガーデン→日本丸メモリアルパーク→汽車道→赤レンガ倉庫【見学】→横浜税関<クイーン>→横浜市開港記念会館<ジャック>【ボランティアガイド付見学】→神奈川県庁<キング>→大栈橋【見学】→象の鼻パーク【見学】→山下公園→氷川丸→中華街朝陽門→北京焼鴨店【新年会】

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。

① 桜木町駅改札口集合

新しい改札口の北口ができていた。寒いので改札口につながっている建物の中で全員集合を待つ。



エスカレータを乗っていく。途中で日本丸の方に階段を下り、船の横を通り過ぎる。



② ランドマークタワー

近くから見上げるランドマークタワーはさすが高い。



設計：三菱地所 高さ 70 階、296.33m

日本第 2 位 1993 年 7 月竣工

③ ドックヤードガーデン

ここで船を作っていたという。石造りの造船設備だ。深さは 10m もある。



旧横浜船渠（三菱重工横浜造船所）第2号ドック跡：
現存する日本最古の石造りドックヤード
重要文化財，全長 107m・全幅 29m・深さ 10m

④ 日本丸メモリアルパーク

先ほど右手に見ながら通り過ぎた日本丸を楽しめる
日本丸メモリアルパークで日本丸を目の前で見る。



日本丸（1930年進水の航海練習帆船）
1984年退役を1985年浮体展示
旧横浜船渠第1号ドック跡 重文
全長 204m・全幅 34m・深さ 11m

⑤ 汽車道

汽車道の左側には線路が残されている。橋梁が3つある。アメリカ製二つとイギリス製一つ。



この橋梁はアメリカ製。



下の写真のこの橋梁はイギリス製。



1911年（明治44年）開通の臨海線（税関線）跡を利用して1997年に開通したプロムナード
全長 500m

港1号2号橋梁 1909年架設アメリカン・ブリッジ製トラス橋、港3号橋梁 1906年夕張炭鉱線架設を移設保存イギリス製

⑥ 赤レンガ倉庫

冬のシーズンで倉庫の前の広場にはスケートリンクができていた。



倉庫内はお土産店やレストランが多い。グリーンワイン（ホットワイン）を飲もうとレンガ倉庫内を探す。メニューがあるレストランを見つけたが、お店内で飲んでということで、時間不足もあり断念。



明治政府によって建設された「新港埠頭保税倉庫」
2号館 1911年(明治44年)
1号館 1913年(大正2年)竣工。
明治建築界三巨頭の一人：妻木頼黄の設計
妻木は旧横浜正金銀行本店本館「神奈川県立歴史博物館」<エースドーム>設計者
2002年赤レンガパークとして整備された。

⑦ 横浜税関<クイーン>

象の鼻パークを左奥手に見ながら進む。右手に横浜

税関がある。内部見学は今回無し。



1934年(昭和9年)竣工

戸田建設施工 塔の高さ51m

宮城・福島・茨城・栃木・千葉・神奈川を管轄

⑧ 横浜市開港記念館<ジャック>

横浜市開港記念館に向かう信号の手前の右手に開通合名会社(日本人商社)の煉瓦遺構がある。



その写真にはこれから行く横浜市開港記念館が震災にも耐えた写真があった。下記写真。

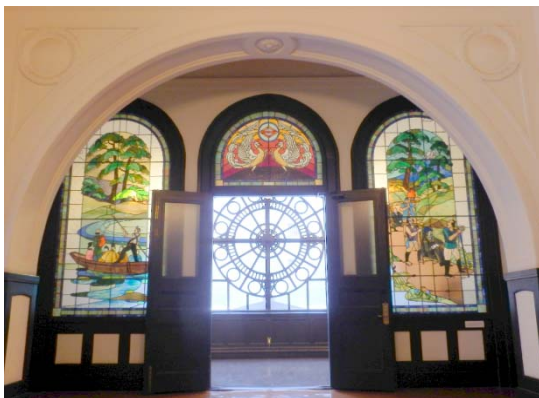


これは現在の横浜市開港記念館。



案内人の説明を楽しむ。

上の写真のように建物の外観は残ったが、内部はかなり破壊されてしまったという。再現されたものとしてステンドグラスを説明。



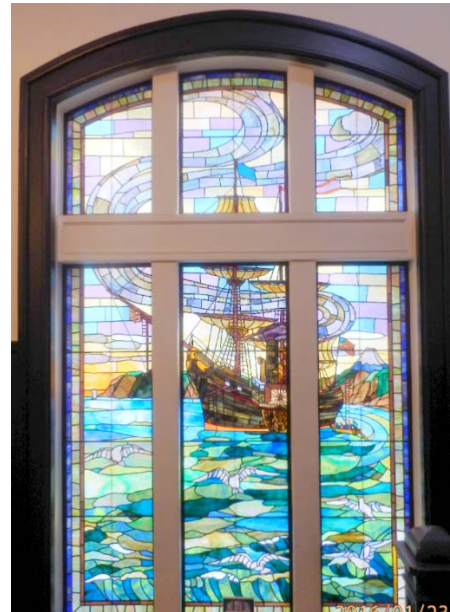
1927年（昭和2年）に左右のステンドグラスは復旧された。



黒船のステンドグラスも残っている。米軍がこの建物を大切に使ってくれたので残されたと説明。



戦時中、日本軍はアメリカの旗を覆い隠していたそう。アメリカの旗と富士山が仲良く写っている。



キング、クイーン、ジャックと建物の高さか、国・県。市の順？で名前が付けられているが、一番重要な建物がこの横浜市開港記念館とも説明。

1917年（大正6年）完成、関東大震災で全焼、1927年（昭和2年）復元再建、ドーム部は1989年（平成元年）に再建。塔の高さ36m
重要文化財。キング・クイーン・ジャック三塔を巡ると願いが叶うという。

⑨ 神奈川県庁<キング>

今回は前を素通りしていく。良い写真が撮れなかった。



1928年（昭和3年）竣工
大林組施工 塔の高さ48.6m

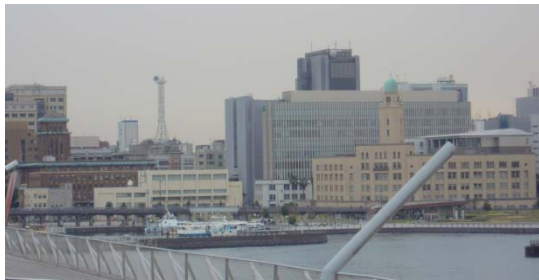
⑩ 大さん橋

しばらく歩いて大さん橋に向かう。板で覆われたクジラの背中と呼ばれる屋根の上を歩いていく。



途中で集合写真を撮る。

ここからなキング・クイーン・ジャックの3つの建物を見ることができる。縁起の良いスポットだ。



1894年（明治17年）完成の「鉄栈橋」が前身、1970年頃まで「メリケン波止場」と呼ばれていた。2002年に完成した現在のものは構造的には“栈橋”ではなく“岸壁”であり「大さん橋」が正式表記である。アレハンドロ・ザエラ・ボロ（スペイン出身イギリス在住）&ハアッシド・ムサビィ（イラン出身イギリス在住）設計、清水JV+鹿島JV+戸田JV施工。愛称「くじらのせなか」、室内部分（ホール）は「くじらのおなか」と呼ばれる。



⑪ 関象の鼻パーク

山下公園に向かう途中に見学。像の鼻を想像してください。



横浜港発祥の地：波止場は近年に、明治中期の形状に復元したもの

⑫ 山下公園

インド水塔は大震災関連のもの。



なぜか3人での記念写真。



「赤い靴をはいていた女の子」の像。



1930 年（昭和 5 年）開園、関東大震災の復興事業として瓦礫で海を埋め立てて造成。面積 74,121 m²

⑬ 氷川丸

時間もないので、近くで見学するだけ。鎖にカモメが整列している。



1930 年（昭和 5 年）横浜船渠建造

北太平洋航路就航、日本郵船貨客 11,622 総トン、全長 163.3m、1960 年運航終了、山下公園係留。旅客定員：一等 76 名・二等 69 名・三等 186 名、計 331 名。太平洋戦争（病院船として活躍）で残った数少ない大型貨客船、横浜市有形文化財。船内設備（特に船長室）は一見の価値あり。

⑭ 懇親会場へ

マッカーサーが根城としたホテルだという。横浜空襲のとき、マッカーサーは自分たちが住む建物は避けて攻撃したという。



中華街には中華街朝陽門から入り、まず関帝廟にお参りする。



正式なお参りをする人。





⑮ 懇親会

会場は、北京焼鴨店。席のそばで焼きカモを調理してくれた。



紹興酒をよく飲みました。



お疲れ様でした。今年もまち歩き頑張っていきましょう。